

## ダイベストメントについて

松尾一震災を機に、ファッション関係の仕事を辞めて今の仕事を始めたんですが、外に出てみていろいろな問題が相互に関係し合いながら社会を形成していることを知って、その根源となるエネルギーとお金の流れを変えなければ社会の変革はないと気がきました。そんな時に出会ったのが国際環境NGOの350.org Japanでした。お金の流れを意識し始めると社会全体を俯瞰できるようになるので、自分が使ったお金がどういった社会を作っているのかを考えるきっかけにもなります。「ダイベストメント」は資金撤退という意味です。国際環境NGOの350がやっているダイベストメントは環境問題に特化していて、中でも化石燃料と原発が主な特化項目になります。銀行などの金融機関は預金者や利用者からお金を預かり、そのお金をいろいろな企業や組織、団体、時には個人に投融資することで運用されています。その投融資先が、環境に優しい場合とそうではない場合があって、350では、環境破壊に関わる事業、プロジェクト、会社から資金を撤退するダイベストメントを推進しています。わたしたちが預けたお金がわたしたちの思いや考えに反して、環境破壊や持続不可能なビジネスに使われていたとしたら問題ですよね。実際にはそういった金融機関を利用することでわたしたちは知らず知らずに加害者側にまわってしまっています。個人でできることは2つ。「そういったところにお金を投じないでください」という声を金融機関に届けること。そしてもうひとつはダイベストメントです。預金口座を解約し、そういった環境破壊につながる投融資をしない金融機関の口座を新たに開きます。350では地球にやさしい銀行「CoolBank」を一覧にして、オンラインで公開しています。この金融機関のリストはオランダの第三機関に調査依頼し、投融資状況から作成しています。

350の公式サイトではダイベストメントをしてくださった個人や組織のみなさんの報告を紹介、社会が少しずつ変化していく過程を見える化できるようにもしています。最近は皆さんのアクションとそれを取り上げるマスメディアによって、まったく聞く耳を持っていていなかった金融機関が面談をしてくれるようになったりと随分と変化してきています。やっぱり市民の力というのは大きいですね。そんな中、今、問題なのは、日本政府が石炭火力発電所と原発を主要エネルギーとして据えてしまっていることです。すでに日本では35基の石炭火力発電所を新設予定で、そのうち19基が現在建設中という状況です。2015年のパリ協定でも地球の平均気温を抑える方向で石炭火力発電所は新設してはいけない、新設しない方が良くと語られている中で日本のエネルギー対策は時代を逆行するようなものになっています。この流れを変えていくのは、わたしたち市民ひとりひとりの意識と行動です。まずは皆さんの出来るところから行動を取っていただけたら嬉しいです。

※持続可能な17の開発目標 (SDGs) 1.貧困をなくす 2.飢餓をゼロに 3.人々に保健と福祉を 4.質の高い教育をみんなに 5.ジェンダーの平等 6.安全な水とトイレを世界中に 7.エネルギーをみんなに、そしてクリーンに 8.働きがいも経済成長も 9.産業と技術革新の基盤をつくろう 10.人や国の不平等をなくそう 11.住み続けられるまちづくりを 12.つくる責任つかう責任 13.気候変動に具体的な対策を 14.海の豊かさを守ろう 15.陸の豊かさを守ろう 16.平和と公正をすべての人に 17.パートナーシップで目標を達成しよう

※プラスチックフリー プラスチックを使わない商品や生活のこと。世界の海に存在しているといわれるプラスチックごみは、合計で1億5,000万トン。プラスチック汚染は環境と海に生きる生物にとって一刻を争う状況になっている。

## SAORI MATSUO 松尾 沙織

1984年 東京都武蔵野市生まれ。2011年の震災をきっかけに、当時の働き方や社会の持続可能性に疑問を持ち、働いていたアパレル企業を5年で退社。「ソーシャルデザイン」という言葉に出会い、NPO法人グリーンズにてライターインターンを経て、編集学校を卒業。「green drink Japan」事務局を経て、「green drinks Harajuku」オーガナイザーを務める。現在はフリーランスのライターとして、さまざまなメディアで「SDGs」や「サステナビリティ」「エシカル消費・金融」を紹介する記事を執筆。また、国際環境NGO 350.org Japanの「ダイベストメントコミュニケーター」として気候変動の問題を広める活動をしている。

350japan



## RYUJI KOUNO 河野 竜二

神奈川県出身、湘南在住。資格スクール運営・専門学校職員・学習塾教室長と教育業界10年間のキャリアで約2000人の進路指導、就職支援に関わり独立。企画団体「LIFE DESIGN VILLAGE」を立ち上げ「TOKYO ジビエ」「民シェアリング」「TOKYO REISM NIGHT」などをプロデュースし、地元湘南では職住近接を実現するための職業紹介「湘南Work.」を立ち上げる。2017年から日本最大級の環境イベント「アースデイ東京」の事務局長に就任し、持続可能な社会の実現に向け奔走している。

EarthDayTokyo

